

2013年度生

[スポーツ健康科学部] スポーツ健康科学科
中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)

※ 中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)とも p. 195～198を参照。

第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作).....	p.195
第②欄(教職に関する科目).....	p.196～197
第③欄(教科又は教職に関する科目).....	
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修)).....	保健体育… p.198
第⑤欄(教科に関する科目(選 択))	

[単位の履修方法]

	必要単位数	
	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)
第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)	9単位	
第②欄(教職に関する科目)	35単位	29単位
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))	22単位	22単位
上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より 選択	2単位	10単位
合 計	68単位	70単位

スポーツ健康科学科 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)				
日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作				
第 ① 欄	免許法施行規則に 定める科目	本 学 基 準		
		科 目 名	単位	履修方法
	日本国憲法	日本国憲法	2	2単位必修
		憲法 1	2	
		憲法 2	2	
	体 育	スポーツ・パフォーマンス 1 *	1	1単位必修
		スポーツ方法実習(フィットネス)	1	
		スポーツ方法実習(器械運動)	1	
		スポーツ方法実習(水泳)	1	
		スポーツ方法実習(バスケットボール)	1	
		スポーツ方法実習(バレーボール)	1	
		スポーツ方法実習(サッカー)	1	
		スポーツ方法実習(卓球)	1	
		スポーツ方法実習(テニス)	1	
		スポーツ方法実習(柔道)	1	
		スポーツ方法実習(剣道)	1	
		スポーツ方法実習(ダンス)	1	
		スポーツ方法実習(スキー)	1	
		スポーツ方法実習(バドミントン)	1	
		スポーツ方法実習(陸上競技)	1	
		健康の科学 *	2	2単位必修
		スポーツの科学 *	2	
		スポーツと健康 *	2	
		トレーニングの科学 *	2	
		スポーツの心理 *	2	
	外国語コミュニケーション	コミュニケーション 1 *	1	必 修
		コミュニケーション 2 *	1	
	情報機器の操作	スポーツ統計情報処理	2	必 修

*は全学共通教養教育科目

2013年度生 スポーツ健康科学科 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)				
教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目				
第②欄 (教職に関する科目)	免許法施行規則に定める科目区分等		本 学 基 準	
	科 目	各科目に含める必要事項	授 業 科 目	単位数 履修方法
	教職の意義に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2 必 修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2 必 修
		・幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	発達と学習の心理学	2 必 修
		・教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	学校経営と法規 教育社会学(1)	2 2 1科目必修
			教育社会学(2)	2
			人権教育論	2 必 修
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2 必 修
		・各教科の指導法	① 保健体育科教育法 A 1	2
			② 保健体育科教育法 A 2	2
			③ 保健体育科教育法 B	2
			④ 保健体育科教育法 C	2
		・道徳の指導法	※ 道徳教育の理論と実践	2 中一種免のみ 必修
		・特別活動の指導法	特別活動論	2 必 修
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	視聴覚教育	2 選 択
			教育方法論	2 必 修
	生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2 必 修
		・進路指導の理論及び方法		
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 学校カウンセリング	2 2 1科目必修
	教 育 実 習		教育実習指導	1 必 修
			教育実習 A	2
			教育実習 B	2
			教育実習 C	4
	教 職 実 践 演 習		教職実践演習(中・高)	2 必 修
第③欄	教科又は教職に関する科目		※ 道徳教育の理論と実践	2 高一種免のみ選択

※「道徳教育の理論と実践」は中一種免では必修科目, 高一種免の場合は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

[注] 1. 取得しようとしている教科の教科教育法以外の教科教育法を修得しても、免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え、第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄には単位数として算入できないので注意して登録すること。

2. 中一種免と高一種免の両方の免許を取得しようとしている場合、教育実習Cを履修することによって、高一種免の第②欄の必要な単位数を2単位オーバーすることになるが、この2単位は免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え、第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄の単位数には算入できないので注意して登録すること。

2013年度生 スポーツ健康科学科 教育実習条件科目について
中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)

1. 教育実習の時期と期間

- ① 中学校教諭免許のみ または中学校・高等学校教諭免許両方を取得する場合

イ. 「教育実習C」・・・ 4年次に3週間または4週間を課す実習校

ロ. 「教育実習A」と「教育実習B」・・・ 3年次・4年次それぞれ2週間の教育実習 を課す実習校
(基本的には、イの4年次に実習を行う「教育実習C」になります。)
- } イまたはロのいずれかの教育実習が必要です。
- ② 高等学校教諭免許のみを取得する場合
- 「教育実習B」・・・4年次に2週間の教育実習が必要です。

2. 教育実習条件科目

下欄の表の ○印の科目 および 指定された教科教育法が条件科目になります。

＊ どの教科の免許を取得するか, 教育実習がどのタイプかを確認して条件科目を確認してください。

＊ 学部生の基準で年次を入れています が 大学院生, 科目等履修生の場合も「教育実習A」、「教育実習B」、「教育実習C」を登録する前年度末までに必ず条件科目の単位を取得してください。教育実習を履修済みの学生が再度実習に行く場合の条件科目については、免許資格課程センター事務室に確認してください。

< 教育実習条件科目 >

			教職概論	教育原理	発達と学習の心理学	保健体育科教育法 A1 保健体育科教育法 B 保健体育科教育法 C	教育実習 A	人権教育論
中一種のみ または 中一種・高一種 両方の免許を 取得する場合	イ	教育実習C 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	いずれか1科目		○
		教育実習A 条件科目 (2年次末までに取得)	○			A1		
	ロ	教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)		○	○		○	○
高一種免許 のみを 取得する場合		教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	B, Cのいずれか1科目		○

- ※ 条件科目以外の教科教育法についても3年次末までに履修しておくことが望ましい。
- [注]1. 教育実習の条件科目としては1科目以上(指定あるいはいずれか)必要。
2. 免許を取得するためには免許・資格関係履修要項の第②欄の教職に関する科目の履修方法に従ってそれぞれの教科に関するすべての教科教育法を修得しなければならないので、注意して登録すること。

上記以外にも教育実習を行うための履修資格(P. 14 V. 教育実習(2)履修資格)が記載されているので、確認すること。

2013年度生 スポーツ健康科学科 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育) 教科に関する科目					
第④欄	教科に関する科目（必修・選択必修科目）	免許法施行規則に定める科目	科 目 名	単位	履修方法
		体育実技	スポーツ方法実習(フィットネス)	1	フィットネス、器械運動、陸上競技の中から、2種目を選択必修。その際、同種目のスポーツ方法実習とスポーツ指導法実習を履修すること。
			スポーツ指導法実習(フィットネス)	1	
			スポーツ方法実習(器械運動)	1	
			スポーツ指導法実習(器械運動)	1	
			スポーツ方法実習(陸上競技)	1	
			スポーツ指導法実習(陸上競技)	1	
			スポーツ方法実習(水泳)	1	水泳、スキーから、1種目を選択必修。その際、同種目のスポーツ方法実習とスポーツ指導法実習を履修すること。
			スポーツ指導法実習(水泳)	1	
			スポーツ方法実習(スキー)	1	
			スポーツ指導法実習(スキー)	1	
			スポーツ方法実習(バスケットボール)	1	バスケットボール、サッカーから、1種目を選択必修。その際、同種目のスポーツ方法実習とスポーツ指導法実習を履修すること。
			スポーツ指導法実習(バスケットボール)	1	
			スポーツ方法実習(サッカー)	1	
			スポーツ指導法実習(サッカー)	1	
			スポーツ方法実習(バレーボール)	1	バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、1種目を選択必修。その際、同種目のスポーツ方法実習とスポーツ指導法実習を履修すること。
			スポーツ指導法実習(バレーボール)	1	
			スポーツ方法実習(卓球)	1	
			スポーツ指導法実習(卓球)	1	
			スポーツ方法実習(テニス)	1	
			スポーツ指導法実習(テニス)	1	
			スポーツ方法実習(バドミントン)	1	
			スポーツ指導法実習(バドミントン)	1	
			スポーツ方法実習(柔道)	1	柔道、剣道、ダンスの中から、1種目を選択必修。その際、同種目のスポーツ方法実習とスポーツ指導法実習を履修すること。
			スポーツ指導法実習(柔道)	1	
			スポーツ方法実習(剣道)	1	
			スポーツ指導法実習(剣道)	1	
			スポーツ方法実習(ダンス)	1	
			スポーツ指導法実習(ダンス)	1	
		「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	スポーツの原理	2	スポーツの原理、スポーツ社会学、スポーツ心理学の中から、1科目を選択必修。
			スポーツ社会学	2	
			スポーツ心理学	2	
			スポーツ運動学	2	必修
		生理学(運動生理学を含む。)	生理学	2	必修
		衛生学及び公衆衛生学	公衆衛生学	2	必修
		学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	2	必修
第⑤欄	教科に関する科目（選択科目）		スポーツ・バイオメカニクス	2	選 択
			発育発達と老化	2	
			障がい者スポーツ論	2	
			スポーツ生理学	2	
			トレーニング論	2	
			スポーツ測定評価論	2	
			スポーツ医学A(内科系)	2	
			スポーツ医学B(外科系)	2	
			スポーツ栄養学	2	
			健康教育学	2	
			精神保健論	2	
			健康運動論	2	